

11月連続で減

11月の建設業倒産

工手
商一
京サ
東リ

リサーチが公表した。前年同月比3.2%減だった。この中には、愛媛県発祥の総合建設業である中央建設（東京都港区、負債53億8100万円）、戸建て住宅などを手掛けるエステーホーム（同中央区、負債42億4800万円）が含まれている。業種を設備工事業に絞ると、10月から1件増え36件だった。また、倒産件数の中から物価高倒産を抽出すると、11月の建設業は19件（前年同月比72.7%増）で、10産業

の中で最多となった。次いでサービス業他が15件、製造業が12件という状況だ。一方、11月全体の倒産件数を見ると778件（7.4%減）で、6カ月ぶりに前年同月を下回った。700件台は2月の764件以来、9カ月ぶり。負債総額は3カ月連続で前年同月を下回る824億0300万円（48.5%減）。件数を産業別で見ると、10産業のうち小売業、不動産業、情報通信業の3産業で前年同月を上回り、サービス業他が250件（17.7%減）で最も多かった。建設業はそれに次ぐ2番目の多さ。

全体の物価高倒産を見ると、11月は62件（11.4%減）で、6カ月ぶりに前年同月を下回った。これを業種別で見ると、最多が飲食店の9件で、前年同月から横ばいだった。次いで、総合工事業が8件（前年同月比5.5%増）、職別工事業が7件（2件増）となっている。設備工事業は4件（1件増）だった。東京商工リサーチは、建設業の物価高倒産について、資材価格の高止まりに加え、職人確保のための人件費負担も重く、コストアップが経営に大きなダメージを与えているとまとめている。

近未来コンクリート研究会 スランプ廃止、牡蠣殻活用など議論 25年度第2回協議会

した予備的な実験結果が示され、これが施工性改善にどうかを検討。スランプを増大させることで施工性は改善できる一方、空気量の調整など検討の余地が残ることから、今後広島工業大学で本実験を行い、適用性を検討することとなった。また、沈下び割れの防止に対する少量の分離低減剤の後添加や、「国土交通省のスランプ規定廃止の提案」についても意見交換した。

午後からの「脱炭素コンクリート技術研究(S)協議会」(主査 坂本英輔 広島工業大学教授)では、カーボンフットプリント製品算定ガイドラインにおける高炉スラグへのCO₂排出量の配分などが紹介され、今後はスラグの使用もCO₂の計算に加える可能性が示唆されたほか、コンクリート材料としての牡蠣殻粉末の利用について、広島工大

での予備実験で得られた牡蠣殻の物性をホタテ貝殻と比較しながら議論。ポリプロピレン短繊維を用いたコンクリート再利用の基礎実験の一部紹介もあった。「RC構造物の延命化技術研究(M)協議会」(主査 江良和徳 同コンクリートメンテナンス協会専務理事)では、広島県土木協会の奈良原友貴氏が小規模橋梁の点検・診断・補修の効率化に関する取り組みについて話題を提供。合理的な点検・診断・補修によって安価なメンテナンスが可能となることが確認されたほか、福岡開発の安達大輔氏は建設用3Dプリンタ導入による生産性向上効果に関する具体例を紹介し、今後実践的な取り組みを行うっていくとした。

、10年4月1C造の建築一築・増築に限て、元請また員としての施る(個人住宅事可)ーなど御調町市(一文化会館部S造2階建・8m(建築

中建日報社HPアドレス
<https://chuken-news.com/>
記事検索、結果速報は
中建日報 検索

一般競争入札で3回目を公告した。ともに営業所等の所在地を問わず、広く参加を募る。公告日は16日付。「機械設備」では、単体企業管工事で元請またはJV

「尾道みなと中学校校舎新築(機械設備)」参加資格 単体企業または2社構成JV。単体の場合は「管」620点以上。年平均完工高が1億円以上。10年4月1日以降、延床面積が500m²以上の新築工事または増築工事について、建築物(W造除く)における管工事(元請またはJV構成員)としての実績がある(など)

近未来コンクリート研究会(十河茂幸代表)による2025年度第2回の協議会が16日、対面とWEBの併用で開催され、3つのテーマ別協議会に延べ約70人が参加。施工性改善や脱炭素、延命化に向けた活発な議論を展開するなど、盛会のうちに終了した。



「コンクリートの施工性改善技術研究(CII)協議会」(主査 竹田宣典 広島工業大学教授)では、会員から生コンへの増粘タイプの流動化剤を使用

基本・実施設計 K 構
造研究所
開札日 26年1月22日
同(電気設備)
参加資格 「電気」6
績がある(など)

たは増築工事について、建築物(W造除く)における電気工事(元請またはJV構成員)としての実績がある(など)

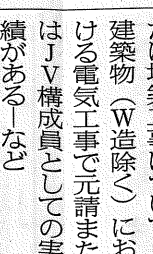
業務内容 東九州自動車道(椎田道路)みやこ豊津IC 椎田南IC間4車線化事業における舗装詳細設計及び道路詳細

一般競争入札で3回目を公告した。ともに営業所等の所在地を問わず、広く参加を募る。公告日は16日付。「機械設備」では、単体企業管工事で元請またはJV

「尾道みなと中学校校舎新築(機械設備)」参加資格 単体企業または2社構成JV。単体の場合は「管」620点以上。年平均完工高が1億円以上。10年4月1日以降、延床面積が500m²以上の新築工事または増築工事について、建築物(W造除く)における管工事(元請またはJV構成員)としての実績がある(など)

近未来コンクリート研究会(十河茂幸代表)による2025年度第2回の協議会が16日、対面とWEBの併用で開催され、3つのテーマ別協議会に延べ約70人が参加。施工性改善や脱炭素、延命化に向けた活発な議論を展開するなど、盛会のうちに終了した。

「コンクリートの施工性改善技術研究(CII)協議会」(主査 竹田宣典 広島工業大学教授)では、会員から生コンへの増粘タイプの流動化剤を使用



「RC構造物の延命化技術研究(M)協議会」(主査 江良和徳 同コンクリートメンテナンス協会専務理事)では、広島県土木協会の奈良原友貴氏が小規模橋梁の点検・診断・補修の効率化に関する取り組みについて話題を提供。合理的な点検・診断・補修によって安価なメンテナンスが可能となることが確認されたほか、福岡開発の安達大輔氏は建設用3Dプリンタ導入による生産性向上効果に関する具体例を紹介し、今後実践的な取り組みを行うっていくとした。

基本・実施設計 K 構
造研究所
開札日 26年1月22日
同(電気設備)
参加資格 「電気」6
績がある(など)

たは増築工事について、建築物(W造除く)における電気工事(元請またはJV構成員)としての実績がある(など)